

## □第1回地域ICカードプロジェクト会議 議事録

日時：平成20年6月4日（水） 午後1時30分～午後3時00分  
場所：社会教育会館 1階会議室  
参加者：メンバー 木村、石川、徳永（代理）、堀出、高栖  
オブザーバー 加藤、浦野  
事務局 山下、小西、高木

## 1. 開会（木村）

## 2. メンバー自己紹介

## 3. 今後の進め方（木村）

- ・必要に応じてメンバーを追加するが1年くらいは、このメンバーで進めていきたい。
- ・第1に地域ICカードがどういうものなのかについて共通認識を持ち、それをこの地域に導入し、商工関係や公共交通の活性化、ひいては中活の目標の達成に繋がるのか検証していきたいと考えている。
- ・その第1歩として今年度は、地域ICカードについて勉強し、それがこの地域に効果があるのか、効果があるようにするにはどうしたらいいかを検討していきたいと思う。
- ・スケジュールについては、基本計画では23年度以降の事業となっているので、本年度で勉強し、来年度以降実際にどう動くのかを検討しながら、大津市と相談しながらやっていきたいと思う。
- ・現在、商店街ではすみれカードを、パルコやセブンイレブンでもカードを持っており、その辺りも併せて勉強していきたい。

## 4. 資料の説明（加藤）

先行事例について説明

## 5. 意見交換

- ・事例からシステムを維持していくためには、決済額が大きいこと、カードホルダー（利用者）が多いこと、使った時のお得感が必要であることがわかった。
- ・初期投資がどれくらいかかるか、どのような補助が活用可能かなど金銭面での研究をする必要がある。
- ・金銭面と併せて、クレジットカードとしてだけではなく、公共交通や公共施設でも使え、できればまちづくり会社で運営するよううまく運営できるしくみを検討しなければならない。
- ・PiTaPa やすみれカードなど既存のシステムとの関りについても検討しなければならない。
- ・おさいふ携帯などカードシステム以外の決済システムについても研究する必要がある。
- ・使う方、店側、決算する方のメリット、デメリットを検討することも必要である。
- ・まちづくりの観点からアプローチしていくとともに大津らしさとか先進性を出す必要がある。
- ・カードのしくみや大きな流れを勉強することからはじめる必要がある。

## 6. 次回（7月9日）のテーマ

- ・商店街のすみれカード、交通ICカード（PiTaPa）等の勉強会を行う。

## 7. 閉会

大津市中心市街地活性化協議会地域 IC カードプロジェクト会議名簿

氏名	所属団体	備考
木村 浩一	京阪電気鉄道(株) 大津鉄道事業部長	プロジェクトリーダー
石川 順三	大津商店街連盟 理事長	
三上 征次	大津商工会議所 専務理事	
堀出 正治	大津市都市計画部都市再生課 課長	
高栖 清	タウンマネジャー	

事務局 まちづくり大津 課長 山下 充美  
 大津市都市再生課 主査 小西 元昭  
 主任 高木 裕司  
 オブザーバー コム計画研究所 加藤 寛之  
 コム計画研究所 浦野 義人